

## 「五所川原市中心市街地活性化ビジョン」(案) についての意見募集結果について

市が実施しました「五所川原市中心市街地活性化ビジョン」(案)の策定にあたっての意見募集に対し、貴重なご意見をいただき、誠に、ありがとうございました。

いただいた意見の概要とそれに対する市の考え方は下記のとおりです。

### 記

#### 1 意見募集期間

令和6年11月25日から令和6年12月25日まで

#### 2 募集方法

市のホームページ (<http://www.city.goshogawara.lg.jp/>) に案の概要等を掲載したほか、市都市・交通課、市役所各総合支所行政資料スペースに備え付けました。

意見提出は、郵送、電子メール、FAXのいずれかの方法によることとし、提出言語は日本語としました。

意見提出にあたっては、提出者の氏名・住所(法人等の場合は、その名称・事務所所在地等の連絡先)の明記を条件としました。

#### 3 提出された意見

2人の方から2件の意見をいただきました。その反映状況は次のとおりです。

文章修正等	記述済み	実施段階検討	反映困難	その他	合計
0件	0件	2件	0件	0件	2件

「文章修正等」・・・本文の修正、記述の追加等意見を反映させるもの。

「記述済み」・・・既に記述済みのもの。

「実施段階検討」・・・計画の実施段階で検討又は対応すべきもの。

「反映困難」・・・反映が困難なもの。

「その他」・・・質問や感想。施策の体系外への意見。

意見の内容とそれに対する市の考え方及び意見を考慮した結果決定した案は、次のとおりです。

(提出された意見の内容とそれに対する市の考え方)

提出された意見	市の考え方
<p>パブリックコメントが実現されると、とても素敵な駅になると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・観光客等を受け入れる宿泊施設が不足している件については、ホテルを増やすのは大変なので、民泊を増やしたり、観光シーズンのみ24時間営業のネットカフェを開設する。</li><li>・情報発信不足等により観光資源の強みを生かし切れていない件については、有名インフルエンサーに依頼し拡散してもらう。</li><li>・空き地、空き店舗が点在しイメージダウンになっている件については、寂れたイメージをレトロやエモい雰囲気や方向転換するようなブランディングを考えてみる。(例：フォトスポットにするなど)</li><li>・来訪者のために、駅のトイレに着替えのための台を設置し、手洗い場と別に化粧するための鏡やテーブルを設置すればよい。</li><li>・早朝のバスで五所川原駅に来た人のために、早朝から営業している施設や飲食店を案内するポスター等を掲示すればよい。</li><li>・郊外に既存の大型商業施設があることから、市街地の空き地には自由に飲食出来るスペースを確保した大きめのスーパーで十分ではないか。</li><li>・市が市民の声を取り入れたとアピールするため、意見採用を実行したらあらゆるメディアを活用し市民に周知すればよい。こうした取組を行うことで今後パブリックコメントに意見を投稿する人も増え、市が意見に対し真剣に向き合っているというイメージアップに繋がると考える。</li></ul>	<p><b>【実施段階検討】</b></p> <p>今回のビジョンは、当市中心市街地の今後のまちづくりの方向性と将来の姿を示すため策定するものです。</p> <p>ご提案につきましては、今後の取組への貴重なご意見とさせていただきます、実施段階において検討してまいります。</p>
<p>現在ある空き店舗や空きビルをそのまま活用して新しい街づくりをする場合、商工会議所、料飲店組合、不動産事業者、宿泊事業者、交通事業者等地域の主要な民間事業者の協力と意識の向上が不可欠。</p> <p>また、中心市街地への新規事業者の参入につい</p>	

て、空き店舗の多さが強みとしているが、建物の老朽化や改築の必要性等が新規参入者の負担となると考えると強みとは言えないのではないか。

民間主導が理想ではあるが、昨今の経済状況やマンパワー不足の現状を見る限り『理想』を主導して『現実』に出来る人・事業者が必要数現れるのか。民間関係事業者を商工会議所と市が両輪となって推進していくうちに、片輪のみで走り続けることにならないことを祈る。

#### ●私の考える五所川原市中心市街地活性化ビジョン

防災機能強化ゾーンについては既に立俣武多の館の広場に整備されているが、防災機能の観点では1箇所だけでは多くの市民の安全を担保するものとして不足ではないか。

市街地の中心部に各ゾーンの課題を集約し活用できる場所を設け、そこを中心として五所川原市が抱える課題「市中心街の活性化」「人口減少（高齢化・若者の流出）」等を含めた問題の解決につなげて欲しいと思い、個人的な意見（要望）として以下の提案をしたい。

#### ●市中心街に大型屋根付き広場を設置

イメージとして八戸市中心街にある「マチニワ」のように、市の中心街に広い屋根付きの広場を設け、あらゆる年代、あらゆる用途に対応する新しい憩いの場として活用する。

加えて災害時の防災拠点や、公共交通の拠点として活用できるよう整備する。

市中心街の空き店舗空きビル等を一扫し広いスペースを確保、全面を囲わずに通りと通りを行き来できるように屋根のみ設置。また屋根は明かりを取り入れるようアクリルにする。

雨や雪の日でも広場を利用可能な施設が理想。

デザイン的には古き良き五所川原市のハイカラをイメージしたもの

#### ●活用例

・イベント活用（大型イベント、小さなイベントどちらにも対応できる）

・子育て世代や小さな子どもが安心して遊べる市街地公園

#### 【実施段階検討】

今回のビジョンは、当市中心市街地の今後のまちづくりの方向性と将来の姿を示すため策定するものです。

ご提案につきましては、今後の取組への貴重なご意見とさせていただきます、実施段階において検討してまいります。

- ・広場に隣接させて飲食店やお土産店を整備し、店舗だけで無く広場でも飲食可能に
- ・飲食店等の一角に立体駐車場を設けその中に市立図書館を移転
- ・公衆トイレを整備し、立佞武多祭期間中のトイレ不足を補う
- ・災害時の避難場所、集合場所、情報収集場所
- ・路線・観光バス等の発着場所を隣接させることで人の流れを作る

#### ●メリット

- ・現中心街の空き店舗等による「寂れた街」のイメージを一掃できる
- ・開放的な空間となるため、多方向からの目が行き届き利用者の安全確保や防犯にも効果がある
- ・四季を問わず利用可能。イベントの雨天中止が無くなる
- ・現在問題視されている、「居住・子育て・福祉・雇用・ビジネス・商業・観光・飲食・都市基盤」の弱点部分の解消の一助となる
- ・運営主体を民間にすることで雇用の創出にもつながる

#### ●問題点

- ・用地の確保
- ・予算（用地確保、解体、建設 他）
- ・運営を任せることが出来る事業者の確保（ノウハウを持つ事業者）
- ・大雪となった場合の施設の耐久性

このような拠点となる施設を上手く活用できれば、周辺の空き店舗を利用し五所川原市で起業してみようとする人が増え、結果U I Jターンしたい人も増えるのではないか。

また、五所川原市中心市街地活性化ビジョン（案）には含まれていなかったが、学びの場所（専門学校・塾等）をもっと中心街に持ってきて、五所川原市を子どもたちや若い世代が安心して学べる場所、スキルを身につけることができる街になって欲しい。

他市から五所川原市（旧金木町）に移り住み 35 年以上、人生の半分以上をこの街で生活してきま

した。

人口の減少や中心街の衰退は五所川原市だけではありませんが、どうすれば子や孫の世代が、ずっとここで生活していきたいと思える街にすることが出来るのかと無い頭を絞ってみました。

実現は難しいのかも知れませんが、この案を考え市民の方々がこの場所でくつろぐ姿を想像した時間は、とても楽しいものでした。

粗末な提案ですが、ご一考頂ければ幸いです。